

がん検診を受診する方へ

●がん検診は定期的に受けましょう

がんは、死亡原因の第1位であり、自覚症状がない場合が普通です。しかし、症状のない早期のうちに発見することにより、適切な治療を行うことができます。異常を感じてから検診を受診するのでは、手遅れになる場合がありますので、定期的に検診を受けましょう。なお、気になる症状がある方は、必ず医療機関で受診してください。

※部位別がんの死亡割合（2023年）

胃がんによる死亡は、男性が第3位、女性が第5位、罹患者総数は第3位です。

大腸がんによる死亡は、男性が第2位、女性が第1位、罹患者総数は第1位です。

肺がんによる死亡は、男性が第1位、女性が第2位、罹患者総数は第2位です。

●がん検診の方法

【胃がん検診】バリウムによるエックス線検査で、バリウム150～200mlを飲んでから撮影をします。

検査そのものは、個人差はありますが、約15分ほどで終了します。

【大腸がん検診】便潜血検査で、自宅で便を2日間採取して提出します。

【肺がん検診】エックス線検査で、検査そのものは5分ほどで終了します。

撮影したフィルムは、2人の医師がじっくり調べます。

※胃部エックス線検査による胃がん検診、便潜血検査による大腸がん検診、胸部エックス線検査による肺がん検診は死亡率減少効果が認められています。

※がん検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合やがんがあるのに見つけれない場合もあります。

●肺がんとたばこ

肺がんの最大の原因として、たばこの影響が指摘されています。たばこを吸うと肺がんにかかる危険性が5～20倍に跳ね上がります。喫煙年数や本数が多いほどリスクは高くなり、禁煙してからの年数が長いほどリスクは低下します。

受動喫煙によっても肺がんのリスクは1.2～2倍に増加します。肺がんの予防には、禁煙・受動喫煙防止が重要です。

●要精密検査となった場合、必ず、精密検査を受けましょう

「要精密検査＝がん」ではありません。「がんを含めた疾病の疑いがある」と判断されたということであり、さらに詳しい検査により、本当にがんかどうかを調べる必要があります。精密検査の結果、がん以外と判断されることが大半ですが、万が一、がんであった場合には、早期治療で治る可能性が非常に高くなります。

【胃がん精密検査】

胃部エックス線検査の精密検査としては、細い管を口または鼻から挿入して直接胃の内側を観察する内視鏡検査を行います。胃内視鏡検査の精密検査では一部組織を採取する検査（生検）を行います。

【大腸がん精密検査】

便潜血検査の精密検査としては、第一選択が全大腸内視鏡検査となります。検査としては、内視鏡を挿入し、20分ほど大腸内を観察します。がんの疑いがある場合は、組織を取る検査も同時に行います。検査の前日から、下剤を服用して大腸の中をきれいにします。

大腸内視鏡検査が困難な場合は、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査を併用した検査を行います。その他大腸CT検査を行う場合もあります。

【肺がん精密検査】

胸部エックス線検査の精密検査としては、CT検査や気管支鏡（内視鏡）検査があります。CT検査はエックス線の管球を回転させ、その間を受診者が乗った台が移動して撮影し、コンピューターで画像を解析します。気管支鏡（内視鏡）検査は必要に応じて行い、のどの麻酔をして気管支鏡を挿入し、気管・気管支の状態を観察します。病変があれば細胞や組織を採取して詳細な検査を行います。

●個人情報の取扱について

がん検診は予防対策として、市民の皆様に広く検診を行い、がんによる死亡率を下げることを目的として実施しています。検診及び精密検査の結果は、実施医療機関が実施主体である八街市へ報告しています。また、他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、その結果を精密検査を実施した機関及び八街市が共有します。

※精密検査結果は個人の同意がなくても八街市に対して提供できます。

（個人情報保護法の例外事項として認められています。）

なお、ここで把握した情報は個人を特定して公表することはありません。収集された個人情報は、他に漏れたりしないよう、安全管理には十分な注意を払います。

【問い合わせ先】

八街市 健康子ども部 健康増進課 成人保健係

電話 043-443-1631